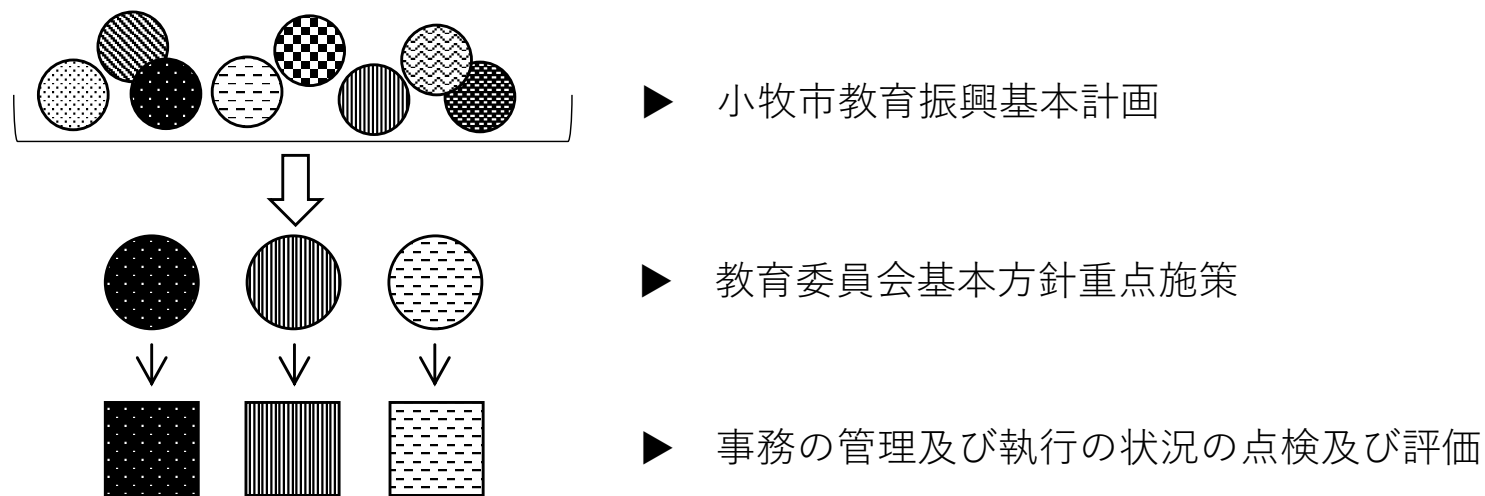


# 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価と  
教育委員会基本方針重点施策について



教育委員会では

**小牧市教育振興基本計画**にある事業のうち  
年度ごとに重点的に取り組む事業を選定し、**教育委員会基本方針重点施策**としてまとめています。  
重点施策は年度末に実施状況を点検・評価（=**事務の管理及び執行の状況の点検及び評価**）します。

今回は、生涯学習に資する事項の点検・評価等を行います。  
審議会の意見を反映した実施状況は、評価委員会で重点施策の全ての事業とあわせて点検・評価されます。

## 小牧市教育振興基本計画評価指標（基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり）

指標名	基準値	目指す方向性 (目標値)	R4	R5	R6
生涯学習に関する講座の受講者数	7,970人	10,000人	5,884人	9,217人	8,975人
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.4%	↗	市民意識調査実施せず	34.0%	33.5%
市民講座受講者数	1,815人	↗	1,629人	1,761人	1,652人
公民館利用率	46.6%	↗	38.5%	42.5%	40.7%
生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合	7.7%	↗	市民意識調査実施せず	7.0%	5.9%
生涯学習に関する相談件数	300件	↗	257件	293件	307件

## 小牧市教育振興基本計画評価指標（基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の振興）

指標名	基準値	目指す方向性 (目標値)	R4	R5	R6
日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	50.7%	↗	市民意識調査実施せず	50.8%	51.3%
市民会館での公演などへの参加者数	71,391人	↗	31,711人	57,057人	4,500人 ※大規模改修
（一財）こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	38,903人	↗	30,029人	33,268人	34,112人
こどもまたは親子で参加する文化体験教室などへの参加者数	1,649人	↗	1,006人	1,277人	1,640人
小牧市文化協会加盟団体の団体数	92団体	↗	92団体	85団体	81団体
※小牧市内を活動拠点とする文化・芸術団体数 (まちづくり推進計画 第2次基本計画指標)	273団体	↗	273団体	272団体	285団体
支援を行った文化団体が実施する事業への参加者数	30,046人	↗	45,511人	48,694人	29,479人 ※大規模改修

# 令和7年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 対象事業（令和7年度小牧市教育委員会基本方針重点施策）

## 基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり

<p>施策21 学習機会の提供と学習環境づくり 市民講座の実施</p>	<p>公募により市民が主体となって行う市民企画講座を実施するとともに、多様な分野の学習機会を提供するために、各公民館の企画による市民講座を実施します。</p>
<p>施策22 学びの成果が活用できる仕組みの充実 生涯学習を推進する人材育成講座の開催</p>	<p>学びの成果を地域活動などにつなぐため、人材育成のための講座の開催や、地域協議会などと連携し、地域の生涯学習活動のきっかけづくりや活性化に取り組みます。</p>
<p>施策24 生涯学習活動を支える体制の整備 こまき市民交流テラス（ワクティブこまき）との連携</p>	<p>ワクティブこまきと連携して、生涯学習をきっかけに、地域活動などへつながる取組を推進します。</p>

## 基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の興振

<p>施策29 文化・芸術の鑑賞機会の充実 身近で良質な鑑賞機会の充実</p>	<p>こまき市民文化財団と連携し、バリアフリーコンサートなどの実施により、広く市民に良質な鑑賞機会を提供します。</p>
<p>施策29 文化・芸術の鑑賞機会の充実 こどもを対象とした文化事業の実施</p>	<p>学校アウトリーチ事業やこども向けの演劇公演など、こどもたちが文化に親しみ身近に感じてもらう機会を提供します。</p>
<p>施策31 市民の創作活動への支援 市民文化活動への支援</p>	<p>市内文化団体の活動の活性化、環境づくりが図られるようサポートを行います。</p>
<p>施策32 文化振興を支える体制の整備 文化財団への活動支援</p>	<p>こまき市民文化財団が、文化振興の推進、文化芸術の普及のため、質が高く柔軟な事業企画、文化団体の活動のサポート、効率的・効果的な運営ができるよう支援を行います。</p>

## 「市民講座の実施」実施状況

(内容) 公募により市民が主体となって行う市民企画講座を実施するとともに、多様な分野の学習機会を提供するために、各公民館の企画による市民講座を実施します。

講座終了後は、サークルを作ってください等、生涯学習に取り組むきっかけづくりとします。

実施状況は参考資料1-1、1-2、1-3のとおり

### ◆市民企画講座

「学びたい人」と「学んだことを活かしたい人」がつながる講師公募型の講座。

### ◆ゆうゆう学級

市内在住・在勤の60歳以上の方を対象に、生きがいのある人生を送るため、高齢期の健康問題や現代の社会に対応できる知識の習得、仲間づくりを目指す学級。

※ゆうゆう・つつじ合同学級は、市内在住・在勤の18歳以上の女性も対象。

### ◆出前講座

市民の方へ学びの機会を提供することを主な目的とした講座。希望に合わせ、市職員・公共機関職員・市民サークル・企業等が講師を務める。※行政編65講座 市民サークル・企業編42講座

### ◆大学連携市民講座

小牧市近隣の大学（主に、愛知文教大学、名古屋造形大学、名古屋経済大学、中部大学、名古屋芸術大学）と連携した講座。各大学の特色を生かした専門的な知識や、技能の習得が可能。

## 課題

- 受講者の年齢層が60代以上に偏りがちであり、また、応募者数が定員を大きく上回る講座と、定員に達していない講座との差が大きくなっています。
- 将来を見据え継続的な学習機会を提供するため、若年層を取り込む講座の選定と情報の発信方法を考える必要があります。

## 今後の取組

- 開催日時や講座内容、SNSでの広報等を工夫して、幅広い世代の方が受講しやすいよう検討します。
- 広報と同時の全戸配布とホームページ掲載に加え、SNS等を活用し、情報展開の工夫を検討します。

## 「生涯学習を推進する人材育成講座の開催」実施状況

(内容) 学びの成果を地域活動につなぐため、指導者育成講座の開催や、地域協議会などと連携し、地域の生涯学習活動のきっかけづくりや活性化に取り組みます。

こまなびサロンやワクティブこまきと連携し、ボランティア活動、市民活動など多様な主体と協力をして、指導者や、生涯学習にかかわる人材を増やします。また、団体の立ち上げや推進をする人材育成のための講座を開催します。

### ・ワクティブこまきとは

市民活動の育成支援に加えボランティア活動、地域活動、生涯学習活動等の情報提供やそれぞれの活動をつなぐ多機能型施設です。  
小牧市が設置を行い、運営は特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワークが運営を行っています。

### ・こまなびサロンとは

小牧市民のよりいきいきとした生活のため、市民の方や大学の協力のもとで多くの分野について学べる講座の企画などを市から委託を受け、こまき市民文化財団が運営を行っています。  
また、市民の「やりたい！」という気持ちを支援するため、生涯学習市民講師や生涯学習団体の登録受付・紹介・相談等を行っています。

開催日	内容	会場	定員	受講者数	主催
1月25日(日)	伝わる！集まる！市民活動広報セミナー～団体のブランドを伝える発信術～	ワクティブこまき多目的室	20名	20名	ワクティブこまき
2月7日(土)	はじめての方向け Canvaでチラシを作ってみよう！	ワクティブこまき多目的室	10名	開講前	ワクティブこまき
2月11日(水)	世代間や価値観のズレにも悩まない～令和の時代のコミュニケーション～	小牧市公民館視聴覚室	60名	開講前	こまなびサロン

## 課題

- 講座の受講で終わることなく、学びを地域で生かせるよう、地域活動への第一歩が踏み出しやすい環境を整える必要があります。

## 今後の取組

- ワクティブこまきと連携して、関連する地域活動やボランティア情報等の情報提供を含め、地域活動の場を広げていく支援を考えていきます。

## 「こまき市民交流テラス（ワクティブこまき）との連携」実施状況

(内容) ワクティブこまきと連携して、生涯学習をきっかけに、地域活動などへつながる取組を推進します。

項目	内容
人材育成講座の連携開催	小牧市内で市民活動・生涯学習活動を行っている人、これから行おうとしている人を対象に、活動を活性化したり、スキルアップをはかるための講座を開催。
こまき団体情報ガイドブックの活用	市内を活動拠点とする生涯学習団体や市民活動団体の総合データベース。ワクティブこまきが運営しているが、団体情報の収集や市民への情報提供を各公民館でも行っている。
講師情報の共有	生涯学習市民講師データの共有（相互で人材発掘したデータの一元化）
こまなびフェスティバルへの参加	ワクティブこまきのこまなびフェスティバル参加



このページでは、愛知県小牧市で活動する市民活動団体等を探すことができます。

詳細

団体名と活動内容を検索

### 課題

- 生涯学習支援の拠点であるこまなびサロン、市民活動・交流・協働の拠点であるワクティブこまきのそれぞれの強みを生かし、学びとつながりの循環を推進していくことが求められます。

### 今後の取組

- 今後も講師情報の共有も含め広く周知し、活動の裾野を広げていくきっかけづくりを検討していきます。

基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の振興 - 施策29 文化・芸術の鑑賞機会の充実

## 「身近で良質な鑑賞機会の充実」実施状況

(内容) こまき市民文化財団と連携し、バリアフリーコンサートなどの実施により、広く市民に良質な鑑賞機会を提供します。

財団職員の専門性を活かしながら、市民により良質な文化芸術の鑑賞機会を提供しました。

こまき市民文化財団の主な公演事業 (令和8年1月末現在)

※その他事業については参考資料1-4参照

開催日	内容	会場	来場者数	定員
6月15日(日)	「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」バリアフリー演劇	市民会館	306人	831人
9月7日(日)	小牧市制70周年記念 桂宮治親子寄席・独演会	市民会館・市公民館	572人	1,300人
10月18日(土)	キーウ・クラシック・バレエ 白鳥の湖 全2幕	市民会館	915人	1,310人
11月9日(日)	KAORI PARADISE 2025	市民会館	834人	1,286人
12月14日(日)	尾崎 裕哉 Concert 2025	市民会館	522人	1,286人
開催日	内容	会場	来場者数	
5月25日(日)、7月27日(日) 10月12日(日)、12月21日(日) <未実施>2月4日(水)	・サンデーコンサート (4回) ・モーニングコンサート (1回)	北里・東部・味噌市民センター 市民会館、まなび創造館	延べ874人	

### 課題

●広く情報発信を行い、幅広い層に文化事業への関心を喚起し、来場者数の増加を図ることが求められます。

### 今後の取組

●幅広い世代の関心を引く事業を企画するとともに、より多くの方に知っていただけるよう、周知方法を工夫していく必要があります。

# 「こどもを対象とした文化事業」実施状況（1）

（内容）学校アウトリーチ事業やこども向けの演劇公演など、こどもたちが文化に親しみ身近に感じてもらう機会を提供します。

学校へのアウトリーチ事業（令和8年1月末現在）

プロのアーティストや文化協会に依頼し、鑑賞の機会やワークショップを実施。

開催日	内容	アーティスト	訪問校	対象学年	人数
10月15日(水)	<b>2025年度学校アウトリーチ事業(落語)</b>	<b>瀧川鯉三郎</b>	小木小学校	4～6年生	154人
1月16日(金)			村中小学校	4～6年生	158人
11月28日(金)	<b>2025年度学校アウトリーチ事業(音楽)</b> ※和楽器	<b>三門祐輝 他</b>	小牧小学校	2・3年生	229人
11月26日(水) 11月27日(木)	<b>2025年度学校アウトリーチ事業(講談)</b>	<b>玉田玉秀齋</b>	一色小学校 北里小学校	5・6年生 3～6年生	150人 251人
7月～8月 (夏休み期間)	<b>ジュニア育成文化活動事業 伝統文化指導事業(夏休み子ども文化体験教室)</b>	<b>小牧市文化協会会員 他</b>	中部公民館	小牧市在住の 小・中学生	159人
通年	<b>ジュニア育成文化活動事業 伝統文化指導事業(学校派遣)</b>	<b>小牧市文化協会会員 他</b>	市内小・中学校	市内小・中学校 児童・生徒	延べ2,029人



学校アウトリーチ事業  
(講談/玉田玉秀齋)



夏休み子ども文化体験教室  
(「和」ってすごい!こんなに楽しい  
日本舞踊/小牧日本舞踊協会)

## 「こどもを対象とした文化事業」実施状況（2）

（内容）学校アウトリーチ事業やこども向けの演劇公演など、こどもたちが文化に親しみ身近に感じてもらう機会を提供します。

こども向けの演劇公演など（令和8年1月末現在）

開催日	内容	会場	来場者数	定員
5月4日(日祝) 5月5日(月祝)	<b>小牧市こども夢・チャレンジ事業 第21回こまき山おやこラリー</b>	小牧山 他	4日 49組 5日 50組	4日 80組 5日 64組
5月11日(日)	<b>TEAM パフォーマンスラボ×ガチャピン・ムックのサーカスエコロジカル</b>	市民会館	364人	1,286人
6月29日(日)	<b>市制70周年記念 小牧将棋まつり</b>	公民館	約250人	—
7月20日(日)	<b>小牧市こども夢・チャレンジ文化事業 「GIANT STEPSとつくろう！あそぼう！パクパクおばけ」</b>	青年の家、創垂館	29人	30人

<b>幼保</b> 5月23日(金)～11月5日(水) 小学生 5月14日(水)～16日(金)、 20日(火)・21日(水) 中学生 10月8日(水)～10日(金)	<b>幼稚園保育園等音楽鑑賞事業</b>  <b>小学生・中学生オーケストラ演奏鑑賞事業</b>	〈幼保〉市内保育園21園、幼稚園9園、認定こども園2園  〈小学校〉篠岡・光ヶ丘・陶・本庄・桃ヶ丘  〈中学校〉岩崎・応時・北里	<b>延べ6,926人 (幼保4,077人、 小学生1,240人、 中学生1,609人)</b>
--	--	--	--

生涯にわたって音楽に親しみ、心豊かな人間性を育むきっかけとなることを目的として、中部フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラ演奏の鑑賞を行うもので、幼稚園・保育園・認定こども園、小中学校へのオーケストラ巡回演奏を開催しました。

### 課題

- 今後とも文化団体や学校との協働により、子どもたちが文化芸術に親しむ機会を拡充するとともに、子どもにとって身近で継続的な文化活動を行える環境を整える必要があります。

### 今後の取組

- 子どもたちのニーズを把握した上で、アウトリーチや鑑賞事業を充実するとともに、将来にわたって子どもたちが継続的に文化芸術活動に親しむ機会を確保するために、中学校部活動の地域展開について検討していきます。

## 「市民文化活動への支援」実施状況

(内容) 市内文化団体の活動の活性化、環境づくりが図られるようサポートを行います。

本市の文化芸術の推進の核となっている文化財団と共に様々な取り組みを行いました。

### 【活動の場の提供】

- ・初めての試みとして、「こまき日本文化の日『文化百花』～みんなで文化の花を咲かせましょう」を開催し、地域の方々（書道連盟、茶道連盟、華道連盟）の協力を得ながらともに作り上げる市民参加型の地域密着イベントとして、子どもから大人まで広く伝統文化に親しんでいただける機会を提供しました。

### 【広報活動支援】

- ・団体のイベント情報などを、市や文化財団のホームページに掲載し、広報わくわくガイドでのイベント周知等、広報支援を行いました。

### 【市民会館ホールの有効活用】

- ・小牧市文化協会（加盟団体・構成団体）に対し、平日に利用の無い時間帯の市民会館ホール舞台を有効活用すると共に、活動支援の一環として、練習場所として、安価に貸出しができる制度を整えました。



茶臼ひき体験の様子  
「こまき日本文化の日『文化百花』  
～みんなで文化の花を咲かせましょう～」



他市町村との文化交流  
「愛知県文連東尾張部芸能大会」

## 課題

- 団体の高齢化や固定化、活動の分散、若者の受け皿不足などの課題が見受けられます。

## 今後の取組

- 市、文化財団、文化協会、学校などと連携を深め、情報の集約や発信、文化の継承と次世代育成、展示や発表の場の創出など多角的に市民文化活動の支援に取り組みます。

## 「文化財団の活動支援」実施状況

(内容) こまき市民文化財団が、文化振興の推進、文化芸術の普及のため、質が高く柔軟な事業企画、文化団体の活動のサポート、効率的・効果的な運営ができるよう支援を行います。

### ----- 主な活動支援内容 -----

・文化事業の委託 ・自主事業への補助金交付 等

「市民がともにつくる文化を支え、文化をとおして人々に心の豊かさを提供します」というこまき市民文化財団のビジョンに基づき、財団職員の専門性を活かしながら多くの市民により良質な文化芸術を提供するために、支援を行いました。

### 【主な文化事業概要】 ※各事業詳細は参考資料1-4参照

#### ①普及事業

鑑賞や体験を通して、良質な文化に触れあう機会を提供し、文化・芸術に興味を持つきっかけをつくる。

#### ②伝統文化事業

伝統文化に触れるための鑑賞や体験の機会を提供し、歴史の中で受け継がれてきた豊かな日本文化の継承に寄与するとともに、伝統文化に関する理解促進を図る。

#### ③舞台公演事業

芸術文化を身近に感じていただくとともに、あらゆる世代を対象に気軽に足を運んでいただけるよう、多彩な鑑賞機会を提供する。

#### ④美術事業

市民の創造的な文化活動を支援するための発表の場を提供し、身近な人々の作品を鑑賞することで文化活動の裾野を広げる事業の取り組みを進める。

#### ⑤広報事業

財団が行う文化事業等の情報をより早く、広く周知するため、ホームページやLINE・InstagramをはじめとするSNS、動画配信、メディアなどを活用して積極的に発信する。

## 課題

●限られた予算や人員の中で、多種多様な文化事業を継続的に展開していく必要があるため、運営にあたり問題点等は共有し合い、常に改善策を模索していく必要があります。

## 今後の取組

●市と財団が相互に連携・協力し、市民に質の高い文化事業の提供と文化振興の推進に取り組みます。